



論文賞賞状

日本気象学会英文レター誌SOLA論文賞受賞

このたび、当社気象防災事業部の社員2名が、伊藤耕介氏(琉球大学)ほか6名の方々と共著による論文に対して「日本気象学会英文レター誌SOLA論文賞」を受賞しました。この賞は、SOLA※に掲載された論文の中から毎年一編程度の優秀な論文を選定し、表彰するものです。

明星電気は、名古屋大学が中心となり進める航空機による台風観測プロジェクト(代表:坪木和久教授)で使用する機器を設計・製造するとともに、航空機に同乗し、実際に台風の眼に突入して観測の技術支援を行いました。

今回、2017年に観測した台風の初期的解析がSOLAに投稿され、高い評価を得たものです。

※SOLA: Scientific Online Letters on the Atmosphere

(担当:気象防災事業部)



沿道に取り付けられた表示板

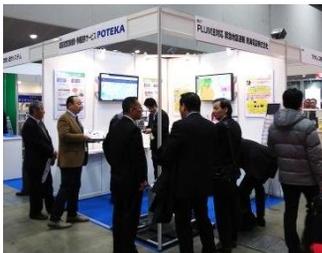
第38回つくばマラソンでPOTEKA活用

昨年11月25日、茨城県つくば市で15,355人が参加して開催された第38回つくばマラソンにおいて、この大会に協力している国立研究開発法人防災科学技術研究所様の研究の一環で、超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKAのデータが活用されました。

沿道に取り付けられたLED表示板に、POTEKAで観測した気温、風向きなどが表示され、ランナーのレースプランに役立てるほか、熱中症や低体温症の予防のための情報周知として使用されました。

明星電気はPOTEKAを通して、地域の皆さまが「使える」気象情報をお届けします。

(担当:気象防災事業部)



南海電設様展示ブース

第23回震災対策技術展にPOTEKA、QCAST展示

2月7、8日にパシフィコ横浜で震災対策技術展が開催されました。

南海電設株式会社様ブースに、当社の超高密度気象観測・情報提供サービスPOTEKAとQCASTシリーズ・緊急地震速報受信ユニットS740-Pを展示していただきました。この展示会は約200社の防災関連メーカーや省庁、自治体などが出展し、防災に関するシンポジウムやセミナーも並行して行われています。昨年を上回る19,000人もの来場者があり、大盛況の2日間となりました。今回は、昨年から始まった新しい震度の予測手法(PLUM法※)に対応したS740-Pが注目されました。

これからもビジネスパートナー様とともにPOTEKA、QCASTを展開し、社会の安全・安心に貢献していきます。

※PLUM法:巨大地震が発生した際でも精度よく震度が求められる新しい予測手法
2018年3月より配信開始

(担当:気象防災事業部)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し

安全・安心な社会の発展に貢献していきます。